

しゃっちょうは行く!

17

Broaden your horizons ⑰ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは! メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。私は昨年、青年経済人の世界会議に参加するため、アフリカ最北端にある国、チュニジアに行きました。実に、所要時間24時間。会議後、折角ですので、現地です。

服を調達し、チュニジアの薬局を視察するため、メディナ(旧市街地)に足を向けました。街の景色を楽しみながら、薬局を発見! フランスの薬局に似ています。日本のように診療所の横にあります。薬局の前にはフランス語とアラビア語で「薬剤師が行うサービス」を明記してくれています。

中に入ると、3人の男性薬剤師さんがいました。つたない英語で交流しました。チュニジアでは教育費はほとんどかからないようで、基本的に6歳から16歳までは無料、大学は専門学校が3年、普通大学が4年、専門的な大学が5年、医学部が6年ということでした。薬学は5年行かないといけなくて。給与はさすがに聞けませんでした。一般的に大学卒の人の給与は8,000ディナールとのこと。1ディナールが80円ですから……6万4,000円です。物価は日本の1/3~1/4ですね。チュニジアでも日本と同じように処方せんのような指示書を医師からもらって、薬剤師がお渡しするそうですが、箱渡しばかりです。病院は公立病院とプライベート病院に分かれています。プライベート病院は非常に値段が高いので、富裕層しかかかれなくてのことでした(あ、隣の診療所もね。ベンツが止まっていたわ)。薬局は、平日8時30分~13時と15時~20時です。そして土曜日は午前中のみですから、日本と同じような勤務体制ですね。でも、日本と大きく違うところは、お昼になると街全体にイスラム教の経典が流れ、みんなお祈りをしていることです。チュニジアはフランス領であったため、街並みがヨーロッパ的なのに、イスラム教文化との融合がなされています。

あれからちょうど1年。11月3日から大阪のグランキューブで世界会議があります(大阪では30年ぶり!)。11月5日には未来メッセとしてブルーエコノミーの提唱者グンターパウリさんや世界第2位のコンピューター会社エイサーのスタン・シー会長が講演に来てくださり、上海万博で有名になった壁を登るロボットも来ます。生物多様性で有名な赤池学先生にも来ていただきます。入場無料ですので、ぜひお顔を出してみてください。設営側で走り回っている私がいいますので。日本にいながら世界の人と交流できるチャンスです! お待ちしております。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子